

蔵王の森だより

マンスリータイムズ 平成24年8月

和歌山県立和歌山西高等学校

和歌山県立和歌山北高等学校西校舎

TEL.453-1281



☆福島の子とも達に思いをはせて



東日本大震災による福島原発事故により、屋外で満足に活動できない状況にある小学生 41 名を和歌山県に招待する「福島っ子和歌山のびのび体験」が実行委員会（事務局は教育互助会）により実施されることになりました。これを受け、8月1日（水）に開かれる「白浜第二小学生との交流」をお手伝いしようということになりました。

（参加者は和西生 8 名、和北西校舎生 2 名、引率教員 3 名）

対面式と白浜中学校ブラスバンド部による歓迎演奏の後、体育館へ移動し、ドッチボール大会が行われました。白浜第二小学校児童と福島県の児童混合チーム（6つ）に、1～2名ずつ和西生・和北西校舎生が加わりました。最後に高校生チームと小学生チームで試合を行いましたが、この時が一番歓声があがっていたように思います。



昼食時には、小学生の輪に高校生も加わり談笑し、その後はバスケットボールや鬼ごっこ等を楽しむ姿が見られました。「学校でドッチボールをやる機会がなかったのでうれしい」（8月2日付、毎日新聞）と語る児童もあり、子ども達の状況に思いをはせ、笑顔と歓声の時間を共有できた生徒達はまたひとつ成長したことでしょう。

☆試合も、応援も両校力を合わせて



7月21日（土）、高校野球県大会で紀北工業高校と試合を行いました。今年は和北吹奏楽部のサポートも加わり、応援団全員マナーを守り、元気よく応援できました。校舎が別々での練習と前日の合同練習（和北にて）を経て本番にのぞみました。試合結果は残念でしたが、大変な猛暑の中、両校が力と心をひとつに取り組んだことは、きっと大切な思い出のひとつとなったことでしょう。

